金沢市丸の内一円におけるタヌキの事故報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福江, 佑子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/29597

金沢市丸の内一円におけるタヌキの事故報告

福江　佑子*

Yuko FUKUE : A Report on the Raccon Dog (*Nyctereutes procyonoides*) Killed in Traffic Accidents around Marunouchi Campus, Kanazawa University.

ABSTRACT: Nine raccon dogs were killed in traffic accidents from January 1990 to January 1992. As to four of them, they were measured, referring to sex, weight and external body sizes including head length, etc. Many accidents occurred in September and October when subadult individuals moved from the natal site.
Key words : Body size—Kenazawa—Raccon Dog—Traffic accident—Urban animal

はじめに

最近，ハクビシンやアライグマなど帰化動物をはじめタヌキ，キツネなどの野生動物の都市周辺への出現が報告されている。特にタヌキは以前は山里に生息する代表的な動物であったが，庭先で餌付けられたり，ゴミあさりをしている写真などをよく目にするようになった。タヌキの都市部への出現の原因として，山間部の開発のため生息地を追われたことやノイヌの減少，またタヌキ自身の順応性，性成熟が早く繁殖力が大きいことが考えられる。

タヌキの都市部への進出とともに，高速道路だけではなく市街地での交通事故の件数も増加してきている。ここでは，金沢市の市街地でのタヌキの交通死亡事故について報告する。

調査地

丸の内一円は，金沢市の中心部に位置し，周囲を道路で囲まれている。さらに，金沢城跡は，大学の敷地となっているため，車の乗り入れが夜間も絶えない。また繁華街に近いためか，駐車場として利用されている。そのため丸の内一円ではタヌキの交通事故死が頻繁に起こっている。

方法

1990年1月から1992年1月までの約2年間に起こったタヌキの交通事故について記録した。交通事故死したタヌキの死体が手に入った場合は性別，外部計測値，事故現場等を記録した。外部計測は，体重，頭長，頭胴長，耳長，後足長，尾長，首回りについて行った。頭胴長は，自然な状態で鼻先から尾の付け根までをその長さとした。

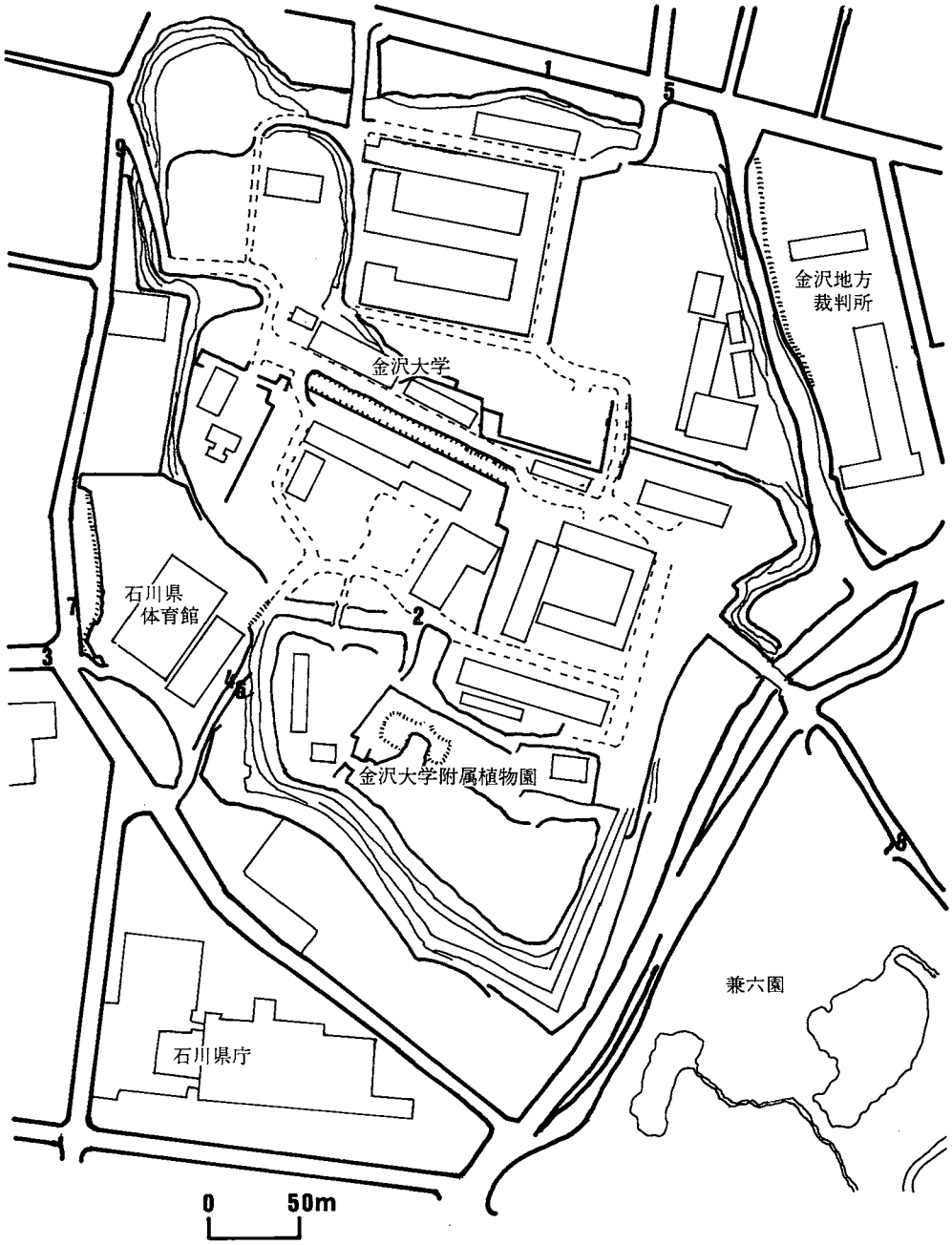
*金沢市丸の内1－1　金沢大学理学部生物学教室生態学講座　Laboratory of Ecology, Department of Biology, Faculty of Science, Kanazawa University, Kanazawa 920, Japan.

外部計測値ならびに毛皮の状態から成獣（A）と亜成獣（SA）を判断した。

結果および考察

期間中，丸の内一円においてタヌキの交通事故が確認されたのは9件であった(図1)。交通事故現場は，大学周辺だけではなく，大学の構内でも起こっていた。交通事故の時間帯はタヌ

図1　金沢市丸の内一円におけるタヌキの交通事故現場



キの行動する夜間で，特に金曜日，土曜日などの週末や祭日の前日の夜に集中していた。最も多く起こった時期は，1991年の秋で，引き続き4件の交通事故が確認された。この季節はタヌキの亜成獣の分散時期と一致する。この時期の亜成獣の事故は今までの行動圏を離れた移動中時の事故であると考えることもできる。さらに連休が続いたため，夜間の車の走行量が増加していたと考えられる。

死体の入手ができた個体についてそれぞれの計測値を表1に示す。計測できた個体数が少なかったため解析することはできなかった。

表1　タヌキの交通事故による死亡個体の計測値

No.	事故日	事故現場	年齢*	性別	体重(g)	外部計測値 (cm)					
						頭長	頭胴長	耳長	後足長	尾長	首回り
1	90年1月	大手門前	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	90年9月6日(木)	図書館前	SA	♂	2960	15.5	50.5	5.4	11.9	18.0	19.9
3	90年12月7日(金)	合同庁舎横	?	♀	4200	14.0	58.0	5.0	11.5	21.0	20.5
4	91年6月28日(金)	宮守坂	A	♂	—	—	—	—	—	—	—
5	91年9月15日(日)	大手門前	A	♀	4100	11.6	51.8	4.9	9.8	23.0	17.8
6	91年9月28日(土)	宮守坂	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	91年10月5日(土)	丸の内P前	SA	—	—	—	—	—	—	—	—
8	91年10月11日(金)	兼六園横	SA	♂	4500	11.8	50.5	4.7	11.6	24.0	18.6
9	92年1月14日(火)	甚石衛門坂下	—	—	—	—	—	—	—	—	—

*SAは亜成獣、Aは成獣を示す

No.8の個体は，石川橋に続く兼六園の下の道路上で拾得された亜成獣個体である。おそらく兼六園横の喫茶店で餌付けられていたらしく，他の個体と比べると亜成獣ながら体重はかなり重かった。

金沢大学内の宮守坂の途中の同場所にて2個体（No.4，No.6）の死亡が確認された。また，同場所でタヌキが数回観察されていることから，この場所は県体育館方面と金沢大学植物園をつなぐタヌキの通り道となっているらしい。

丸の内一円は緑地部分が多いため，周囲の住宅地に比べるとタヌキの生息数は多いと思われる。タヌキの交通事故はタヌキの生息数，夜間の車の走行量に比例して増加を示すと考えられる。